



各学年のPTA行事

国際探究 I 研究発表会

1月16日(土)に総合学力記述模試があり、その昼食にカツカレーの提供が高校2年PTAからありました。例年だと、手作りカレーを振る舞うのですが、今年度は、弁当業者に注文し、配付という形式をとりました。また、模試終了後には、販売カーでのタピオカの提供もありました。

国際英語科の2年で行われる「国際探究 I」は、SDGsにおける17のゴールから選び、今年度は、8つのゴールで全32のテーマの元研究を進めました。1月20日(水)にその発表会が、体育館で行われました。その様子が下の写真です。



個性的な取組内容もあり、とても興味深いものでした。みんな熱心に発表を聞いており、するどい質問などもありました。

下の写真は、「世界のトイレ～江戸時代の〇〇～」を有効活用? の研究テーマで、農業への活用を考え、



設備投資におけるコストの面や化学肥料に頼らない人に優しい農業の取組への提案もありました。

全て、楽しい発表でした。お疲れ様でした。

中学校2年親子レク

同日の1月16日(土)には、中学2年の親子レク(ドッチビー)が行われ、みんな楽しく体を動かしていました。



アドラー心理学

いつも幸せな人が持っている心構えとは?

自分の不完全さを認め、受け容れなさい。
相手の不完全さを認め、許しなさい。



Aさんは、Bさん夫婦の結婚を祝う食事会の席で、礼儀をわきまえずに騒いでいる友人たちに強い怒りを覚えました。本来であれば、夫婦を主役にして自分たちは聞き役にまわるべきである、とAさんは考えました。しかし、他の友人たちはそんなことに気がまわらず、大いに盛り上がっていたらしいのです。

Aさんは、彼らに注意をしました。ところが、彼らは「ハイハイ」と受け流し、一向に改める様子はありません。Aさんは、非常識な彼らを軽蔑し睨みつめました。彼らを責めることでやめさせようとしたのです。

Aさんの配慮は素晴らしいと思います。しかし、その配慮を他の友人に強制することは**共同体感覚**に反すると言えるでしょう。配慮が足らずどんちゃん騒ぎをする友人たちは不完全な人間です。けれども、そんな彼らを睨みつけるAさんもまた不完全。お互い様です。

であるならば、不完全な彼らも自分も許すべき。それなしに**共同体感覚**を高めることはできないでしょう。不完全でいいのです。だからこそ人間臭い。だからこそ愛らしい。そんな度量の広さをいつも持ち合わせていたいものです。

予餞会

今年は、各教室でビデオ上映という形で行いました。生徒会を中心に準備してきた、3年生へのメッセージを含めての上映でした。本来なら、ライブで楽しんでもらいたかったのですが、県内でも緊急事態宣言中であるためこのような形となりました。3年生！楽しんでもらえましたでしょうか。生徒会の皆さん！お疲れ様でした。

JSPSサイエンスダイアログ

2年理数科の生徒対象にJSPS制度のフェロウシップ制度で来日している優秀な若手外国人研究者を招いての講座がありました。3D眼鏡で立体的な画面を見ながらの説明でしたが、タンパク質や細胞の話しが難解でした。

